

「きいて知ろう！ 7区の活動を」

日時：平成26年10月29日（水）13時30分～16時30分

場所：川崎市役所第4庁舎 2階ホール

1 開会あいさつ 【13時30分～35分】

川崎市地域自立支援協議会会長 赤塚 光子

2 各区の取り組み報告（前半）[各区20分] 【13時35分から14時55分】

川崎区「ともに暮らすまちづくり～みんなにやさしい川崎区～」

幸区「つながりのある住みやすい街をつくろう～課題をキャッチ～」

中原区「ステップアップ・なかはらっく・中原！！」

高津区「高津区3本の矢作戦IV

～5年でこんなまちにしたい 今年は夢から実行へ」

質疑応答（10分）

休憩（10分）

3 各区の取り組み報告（後半）[各区20分] 【15時15分～16時15分】

宮前区「地域でつながる～安心なくらしってなんだろう～」

多摩区「障害者も共に楽しく生きる街づくり～地域とのつながりを深める～」

麻生区「知ろう、探ろう、麻生の課題」

質疑応答（10分）

4 閉会あいさつ 【16時25分～16時30分】

川崎市健康福祉局障害保健福祉部長 萩原利昌

第3回連絡会議予定

日時 平成27年2月20日（木）13:30～16:30（予定）

場所 川崎市役所第4庁舎 2階ホール

内容 防災、災害時の取り組みに向けて

川崎区地域自立支援協議会 とともに暮らすまちづくり ～みんなにやさしい川崎区～

川崎区について (平成26年10月1日現在)

人口 219,862人



障害者手帳の取得者数

- ・身体障害者手帳 7, 203人 (8月末)
- ・療育手帳(判定のみの方含む) 1, 386人 (8月末)
- ・精神障害者保健福祉手帳 1, 461人 (8月末)

地域自立支援協議会組織図

川崎市

事務局会議
(行政・相談支援センター)

自立支援協議会の運営について検討

全体会議
(協議会参加機関)

地域生活の課題について
意見交換会として検討

専門委員会
(協議会参加機関)

広報・研修・当事者参加

川崎市

課題整理ワーキンググループ

広報委員会

協議会の構成員

- ・当事者
- ・家族
- ・療育センター
- ・特別支援学校
(地域担当)
- ・障害者支援施設
- ・精神保健福祉センター
- ・視覚障害者情報文化センター
- ・川崎市社会福祉協議会
- ・二次専門機関
- ・区役所
- ・支所
- ・相談支援センター

合計38団体

協議会の活動内容

☆毎月1回の事務局会議

☆毎月1回の全体会議

- ・意見交換会
- ・専門委員会



☆昨年度の専門委員会の取り組み☆

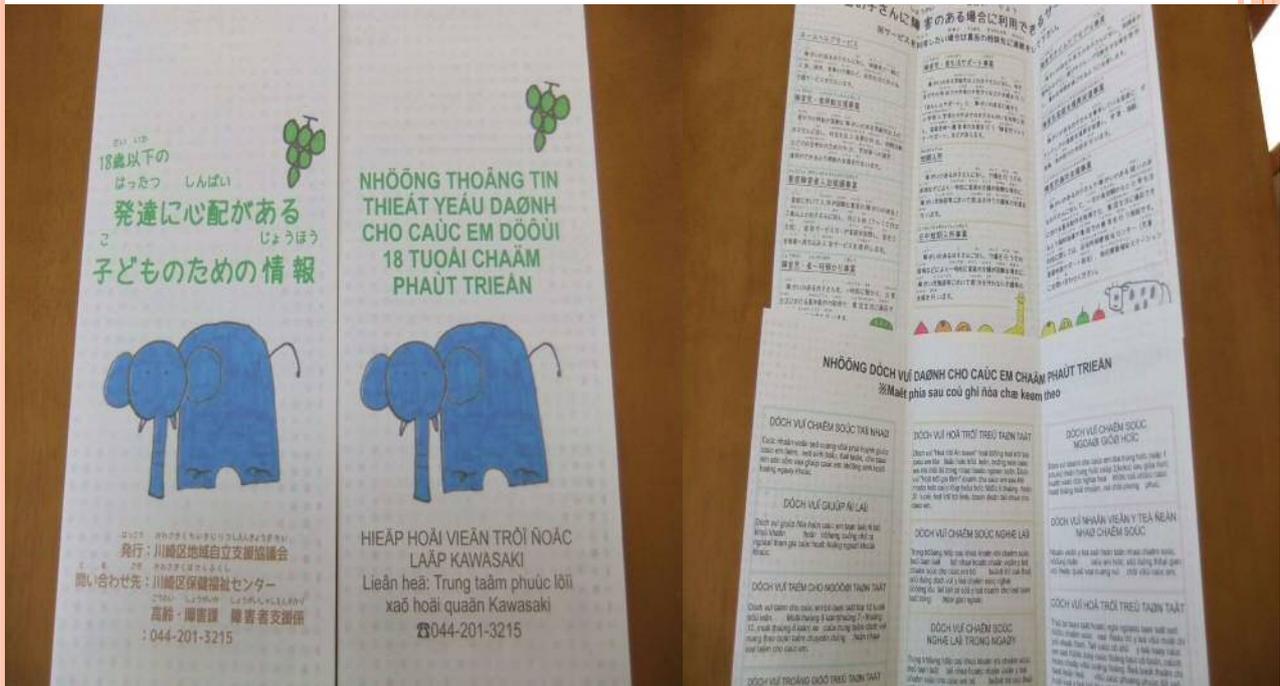
・昨年度は「災害対策」「こども」「暮らし」の3つの委員会を設置しました。

「災害対策」⇒東日本大震災で被災者の実情を構成員で共有し、区として取り組むべき課題を整理しました。
DVD「生命(いのち)のことづけ」を鑑賞。
検討した内容を課題整理ワーキングに提案しました。

「こども」⇒川崎区は外国人親子が多いため、障害のあるこどもの制度を記載した8か国語の制度案内パンフレットを作成しました。

「暮らし」⇒日中活動先の利用者・家族に対する支援や、職員の業務中の悩みなどをフリートークで共有しました。

こども委員会で作成したパンフレット



(8か国語の1部です)

☆意見交換会の目的☆

昨年度の暮らし委員会で出てきた課題をもとに、今年度の意見交換会を設けました。

小グループに分かれ、様々な立場や職種で多角的にテーマについて検討し、共有を図ることを目的としています。

話し合った内容をまとめ、課題整理ワーキングに提案していきます。

☆意見交換会の内容☆

4月、5月 「意見交換のテーマを検討」

6月～8月 「資源不足について」
「児童期」、「成人期」、「高齢期」の3グループに分かれて意見交換を実施しました。

10月 地域包括支援センターとの意見交換会を実施しました。

意見交換会の様子



☆今年度の専門委員会の内容☆

○当事者参加委員会

○研修委員会

○広報委員会



「当事者参加委員会」

- ・当事者参加の在り方や参加方法、川崎区としての方向性を検討しています。
- ・今年度は特別支援学校の生徒会に参加して頂けるよう、取り組みを進めています。

「研修委員会」

- ・川崎区地域自立支援協議会が主催する研修の企画、運営を行います。
- ・今年度は協議会構成員による「わーくす川崎」と「視覚障害者情報文化センター」の見学会を企画しています。

「広報委員会」

・地域に川崎区地域自立支援協議会の情報を発信する方法を検討しています。

・今年度は協議会のパンフレットの作成を企画しています。



今後の予定

11月⇒わーくす川崎、視覚障害者情報文化センター見学

12月、1月⇒引き続き「資源不足」をテーマに意見交換会を実施。

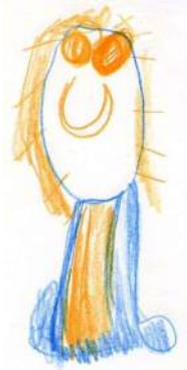
2月⇒意見交換会まとめ

3月⇒次年度に向けての話し合い





ご清聴ありがとうございました。



幸区地域自立支援協議会の取り組み

つながりのある住みやすい街をつくろう ～課題をキャッチ～



川崎市地域自立支援協議会連絡会議

平成26年10月29日(水)

発表者

幸区役所高齢障害課

鶴見 亜呂

地域相談支援センターあんさんぶる 吉澤 美香

1

人口 158,309人

73,726世帯



幸区の特徴



面積10.09 km²

川崎市内で一番人口の少ない区だけど、人口密度は2番目に高い区だよ！

町内会や自治会の加入率は、一番高い区だよ。

障害者施設は通所だけ。ホームが他区より少ないよ。

障害者手帳所持者：

身体障害者手帳：4945人

療育手帳：1018人

精神保健福祉手帳：1053人

(自立支援医療(精神通院)受給者：1980人)

H26. 6月末の集計

老年人口の割合が2番目に高い区ね。

公営の借家などに住む人の割合が高いよ。

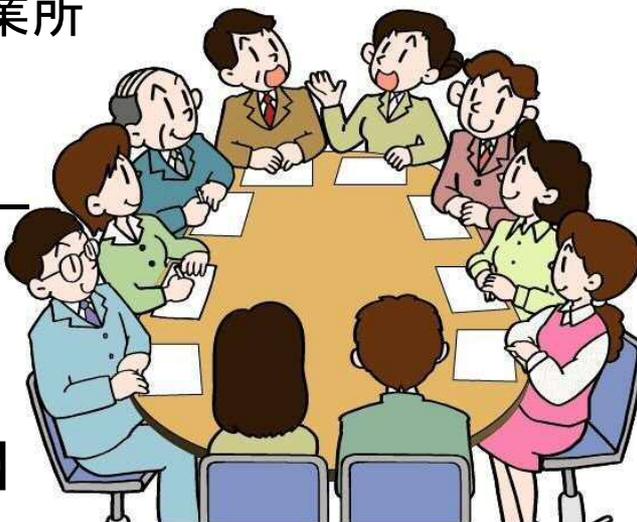
生活保護の保護率は2番目に高い区だよ。

参考資料：○幸区役所まちづくり推進部総務課HP／○市民・子ども局市民生活部市民活動推進課 町内会自治会ハンドブックH22／○総合企画局都市経営部統計情報課 H22国勢調査 川崎市の人口(1)／○健康福祉局地域福祉部保護指導課 資料／○幸区障害者支援係 集計

幸区地域自立支援協議会の構成員

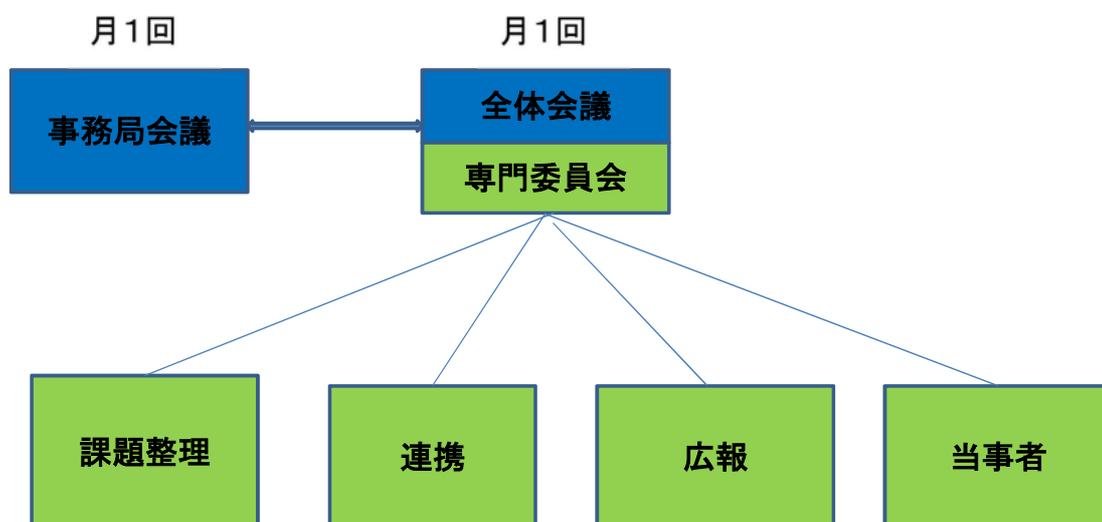
- 当事者
- 障害者福祉施設・事業所
- 特別支援学校
- 更生相談所
- 精神保健福祉センター
- 地域療育センター
- 保健福祉センター
- 相談支援センター

【合計27名】



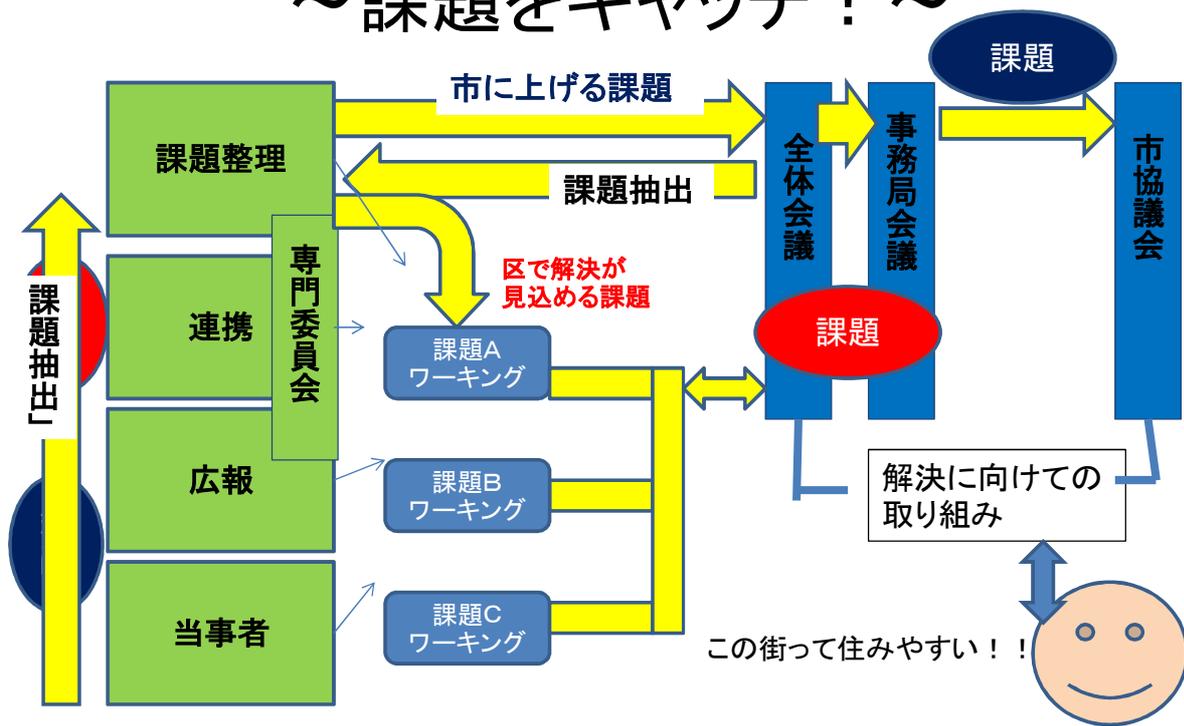
3

幸区地域自立支援協議会組織図



4

つながりのある住みやすい街をつくろう ～課題をキャッチ！～



5

専門委員会①

<p>課題整理委員会</p>	<p>地域の課題を集約し、全体で検討できるように整理します。必要に応じてワーキンググループたちあげの提案や、市へ、課題を提言するための準備をします。</p>
<p>H25</p>	<p>①H24年度に実施した、「成人期のナイトケア」アンケートの回答を集計しました。現在利用している通所先で、延長サービスとして、トワイライトケアを利用したい、という要望が多く寄せられ、市協議会の専門部会(課題整理ワーキンググループ)に課題としてあげました。</p> <p>②父親同士が、つながりを持つ機会を提供する事を目的に、障害をもつ児童と父親を対象に、「アートフットボール講座」を開催しました</p>

6

幸区自立支援協議会 企画

お父さんと、障がいのある子供たちのふれあい講座

アートフットボール をしよう!




講師：清野 乙彦氏
名古屋グランパスエイトやバイエルンミュンヘンなどでプレイ経験のある、元リーガー！
「みんなと一緒に楽しみましょう！」

アートフットボールとは、音楽のリズムなどに合わせて、全身のあらゆる箇所を動いたボールをコントロールする、「ボール遊び」のことです。音楽・ダンス・バスケ・体操など、各種スポーツの要素を持っています。

今回の企画は、日頃お忙しくてお子さんと関わる時間が少ないお父さんと、障がいがあるためにスポーツを楽しむ経験の少ないお父さんが、今話題のアートフットボールに参加することで、さわやかな汗をかきつつ、楽しいひと時を過ごしていただければと思います。

お父さん同士も交流を深め、情報交換などができると良いですね。

日時 平成26年3月2日(日)
午後2時から午後3時30分

場所 東芝小向体育館
川崎市幸区小向東芝町1番地

東急バスにて：川崎駅西口北より川31、33、34系統「東芝前」下車
川崎市バスにて：川崎駅西口北より川73、74系統「小向交番前」下車

* 体育館へ直接のお問い合わせは、御遠慮下さいようお願い致します。
* 敷地内の駐車スペースが少ないため、なるべく公共交通機関をご利用の上、お越しいただきますようお願い致します。
敷地内駐車スペースが満車の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。
(バス停「東芝前」付近にタイムスが2箇所あります)

対象 幸区内にお住まいで、障がいのある小中高校生までのお父さんとそのお父様(先着30組)
* お申し込み結果につきましては、FAXで御連絡いたします。

持ち物 上履き、飲み物、汗ふきタオル、運動できる服装 ***参加費は無料です**

申込方法 裏面の申込用紙にて、FAXでお申込みください。 ***締切：平成26年2月14日(金)**



幸区自立支援協議会とは、地域の福祉向上について検討・企画運営をするための、福祉関係機関の集まりです。
お問い合わせ：幸区役所 高齢・障害課 障害者支援係 TEL. 044-556-6654



7

H26課題整理委員会の取り組み

- ①協議会で抽出された課題を整理して、解決方法を検討します。
全体会議で実施する、「フリースーク」の取りまとめ役も担います。
- ②第2回「アートフットボール講座」の開催準備中です。
父親同士が情報交換できる場を提供する事を目的に、他のプログラムも企画検討中(施設見学や勉強会など)です。

8

幸区自立支援協議会 企画

お父さんと、障がいのある子供たちのふれあいサッカーイベント

川崎フロンターレが やってくる!

来てお! 

Frontale

忙しくて、お子さんと関わる時間が少ないお父さんと、障がいがあるためにスポーツを楽しむ経験が少ないお子さんが、楽しくサッカーができるように、幸区自立支援協議会がお手伝いします!

日時: 平成26年11月30日(日)
午後2時から午後3時30分
(午後1時30分~受付開始)

場所: 東芝小向体育館
川崎市幸区小向東芝町1番地

東急バスにて川崎駅西口北より川91、93、94系統「東芝前」下車
川崎バスにて川崎駅西口北より73、74系統「小向交番前」下車

*体育館へ直接のお問い合わせは、御遠慮下さいませようお願い致します。
*敷地内の駐車スペースが少ないため、なるべく公共交通機関をご利用の上、お越しいただきますようお願い致します。
*敷地内駐車スペースが満車の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。
(バス停「東芝前」付近にタイムズが2箇所あります)

対象: 幸区内にお住まいで、障がいのあるお父さん(小・中・高校生まで)と、そのお父様(先着20組)
*お申込み結果につきましては、書面にて11月21日までに郵送致します。

持ち物: 上履き、飲み物、汗ふきタオル、運動できる服装 ***参加費無料**

申込: 裏面の申込用紙にて、FAXでお申込みください。
締切:平成26年11月13日(木)17:00まで



幸区自立支援協議会とは、地域福祉向上について検討・企画運営をするための、福祉関係機関の集まりです。
お問い合わせ: 幸区役所 高齢・障害課 障害者支援係 TEL.044-556-6654

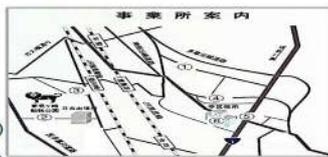


9

専門委員会②

広報	広報活動を通して、幸区地域自立支援協議会や、相談支援体制の周知を行います。
H25	協議会と、相談支援の再編の周知を目的に、広報紙「わいわいさいわい」を作成しました。

事業所案内



名称	所在地	電話	FAX
川崎市高齢者福祉センター	川崎区東1-1-1	044-556-5188	044-556-5184
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-2-2	044-556-5472	044-556-5473
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-3-1	044-556-5089	044-556-5087
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-4-1	044-556-5255	044-556-5492
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-5-1	044-556-5211	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-6-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-7-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-8-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-9-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-10-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-11-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-12-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-13-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-14-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-15-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-16-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-17-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-18-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-19-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-20-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-21-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-22-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-23-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-24-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-25-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-26-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-27-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-28-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-29-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-30-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-31-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-32-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-33-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-34-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-35-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-36-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-37-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-38-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-39-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-40-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-41-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-42-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-43-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-44-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-45-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-46-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-47-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-48-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-49-1	044-556-5244	044-556-5255
川崎市障害者支援センター	川崎区東1-50-1	044-556-5244	044-556-5255



幸区自立支援協議会
平成25年11月発行



10

H26広報委員会の取り組み

- ①『H25幸区地域自立支援協議会まとめ』の発送作業をしました。
- ②行政管轄の、幸区のホームページ上に、協議会の取り組み内容を載せる為の準備中です。
紙ベースでの広報のあり方も検討中です。

11

専門委員会③

連携 委員会	地域の支援体制の強化を目指して、関係機関のネットワークを構築します。交流会や情報交換会を企画しています。
H25	<ol style="list-style-type: none">①田島養護学校のPTA家庭学級に出向き、協議会や、相談支援センターの紹介をしました。②高齢分野の、地域包括支援センターとの意見交換会を企画・開催し、高齢・障害の支援の連携について、話し合いを行いました。③H24民生委員アンケート集計結果について、幸区民生委員協議会 会長連絡会で報告をしました。

12

H26連携委員会の取り組み

- ①普通学校の支援級の先生との連携方法を検討します。
- ②地域包括支援センターとの意見交換会を実施予定です。
- ③民生委員との関わり方について検討予定です。

13

専門委員会④

当事者委員会

当事者の方が協議会の構成員として、委員会の取り組みに参加して、3年目になりました。
当事者が抱える日々の想いや、生活上の課題について、共に考えながら、住みやすい地域を作るにはどうしたらよいかを、話し合います。

H25

- ①施設を訪問して、幸区の相談支援センターのPR活動を行いました。
- ②「これ知っとう！さいわい」を作成しました。
- ③PTA家庭教育学級で、地域での生活体験を発表しました。

14

H26当事者委員会の取り組み

- ①施設を訪問し、引き続き、
相談支援センターの周知活動を行います。
- ②当事者委員会の、今後の‘在り方’や、
取り組み内容を、見直します。

15

ご清聴ありがとうございました



16

中原区地域自立支援協議会

平成26年10月29日（水）



～中原区地域自立支援協議会の組織図～

月1回
全体会議

- ～専門委員会～
- ①地域移行専門委員会
 - ②まちづくり専門委員会
 - ③児童専門委員会

3か所の
地域相談支援センターが
各専門委員会の事務局！



- ～渉外・広報～
- ①なかはらファミリー
 - ②広報活動（リーフレット作成）
 - ③なかはら福祉健康まつり

月1回
事務局会議

- ☆区役所高齢・障害課
- ☆基幹相談支援センター
- ☆地域相談支援センター

平成26年度 中原区の取り組み

～専門委員会～

- ①地域移行専門委員会…施設入所中の事例を通して、地域へつながらなかった場合の問題点・課題を整理する
- ②まちづくり…高齢者・障害者へ安心して賃貸物件を貸せるよう、不動産屋やオーナー側へ向けたリーフレットを作成する。
- ③児童…ひきこもり・不登校に対する支援について、事例検討をする。

～渉外・広報～

- ①なかはらファミリー…当事者主体の集いの場を後方支援する。
- ②なかはら健康福祉まつり…リーフレットを活用し地域自立支援協議会のアピール。多くの方に興味を持っていただけるよう、中原区内の福祉サービス事業所を載せた地図を用いてクイズ形式でゲームを用意。
- ③広報活動…今年度の活動内容・参加機関を掲載し、リーフレットを作成する。

3

①地域移行専門委員会

○施設に入所中の事例を通して、地域へうまくつながらなかった場合の原因について問題点・課題を整理をすることで、次回失敗しないための課題を見つける。

～地域移行の課題～

- ①1、2年の自立訓練で地域移行していくことの難しさ。
- ②退所に向けて、日中活動先や住まいを探すことが同時に進行してしまうことで、本人にとっての負担が大きいのではないか？
- ③知的障害者では、ホームの入居条件が週5日の通所先があることとなっており、通所が難しい方も移行できずにいるのでは？
- ④退所に向けてショートステイの利用を積み重ねていくなどの経験ができれば、徐々にホーム利用以外の選択肢の可能性が広がるのではないか？→入所中に利用できるサービスの少なさ。

4

②まちづくり専門委員会

○大家さん、不動産屋さんが安心して、高齢者・障がい者の方にアパート等を貸して頂けるよう制度やサービスのご案内のリーフレットを作成。

①**当事者**の方にも、委員会にご参加いただき、今後の生活を考えた時に、大家さんや不動産屋さんにどんな協力をお願いしたいかなど、積極的に意見を発信してもらう。

②**貸す立場の方**から、どのような内容が分かりやすいのか、貸す際の不安が払しょくできるかを直接お話を伺いに出向き、内容に反映させる。

5

これが
「貸して安心ガイド(仮)」です！！

相談窓口	
<区役所>	
中野区保健福祉センター	
高齢者支援係	TEL044-744-3217 Fax044-744-3345
障害者支援係	TEL044-744-3265 Fax044-744-3345
<障害者相談支援センター>	
なかはら基幹相談支援センター	TEL044-299-9838 Fax044-299-9839
地域相談支援センターにじ	TEL044-820-6609 Fax044-820-6606
もつみ地域相談支援センター	TEL044-863-6251 Fax044-863-6744
地域相談支援センターすまいる	TEL044-201-1280 Fax044-201-1280
<地域包括支援センター> (高齢者)	
すみよし地域包括支援センター	TEL044-455-0880 Fax044-455-0883 (休日含む、月祝、大祭、お盆、年末、年末年始、本庁休館日、年末年始)
こだなか地域包括支援センター	TEL044-798-2332 Fax044-754-7613 (休館日、お盆、お盆明け、お盆明け)
ひらまの里地域包括支援センター	TEL044-544-4012 Fax044-544-3061 (お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け)
みやうち地域包括支援センター	TEL044-740-2814 Fax044-740-2816 (お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け)
いだ地域包括支援センター	TEL044-751-6661 Fax044-751-6385 (お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け)
とどろき地域包括支援センター	TEL044-753-2782 Fax044-751-9840 (お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け、お盆明け)

貸して安心 ガイド

大家さんに安心して貸していただく
ための高齢者や障害者を支える
制度やサービスのご案内



中野区地域包括支援委員会

詳細は後日・・・

6

③ 児童専門委員会

○不登校児と障害受容について検討する

6月20日にNPO法人教育活動総合サポートセンターから講師をお呼びし、サポートセンターの活動内容と、事例を用いての講義を伺う。学齢期の児童・そのご家族を支援することの難しさとともに、地域の支援機関がどう連携を図るべきかを考える機会を持った。

○児童支援の事例検討を通して課題を整理する。

「不登校・ひきこもりを経て成人期を迎えた方の事例」
児童期から振り返り、未然に防ぐために関係機関の連携や役割を検討。

⇒課題を挙げたうえで、各機関での支援上の課題も挙げ
今後の支援に役立てられるよう振り返りを行なう。

7

① なかはらファミリー

☆ 6月28日（土）聾学校で
第6回「なかはらファミリー」を開催☆



参加者を待つ間に
実行委員は準備に
追われています(˘ ˘)

ドキドキ！
司会・進行姿も
カッコイイです！！



☆ 4名の実行委員を中心に企画・準備を行い、
過去最多の17名で楽しい時間を過ごしました☆

③なかはら健康福祉まつり

- 11月1日（土）開催予定！！
- 協議会マップを見ながらクイズに挑戦！
参加者には中原区内の事業所自主製品をプレゼント♪
- パンフレットを配布して、協議会をアピール！！



～まとめ・今後に向けて～

○今年度は各委員会の活動を大切に、活動報告を全体会で報告しています。さらに全体会では、地域での支援で感じているについて随時意見交換をしています。関係機関だけではなく、当事者の方にも委員会に参加していただき連携しているからこそ、多角的な視点で当事者の生活を考えられることが出来ます。出てきた意見を協議会の中に留まらせることなく、より外部に発信していけるよう協議を重ねていきます。

今年度のキャッチフレーズ！！

ステップアップ・なかはらっく
中原！！



**ご清聴
ありがとうございました。**

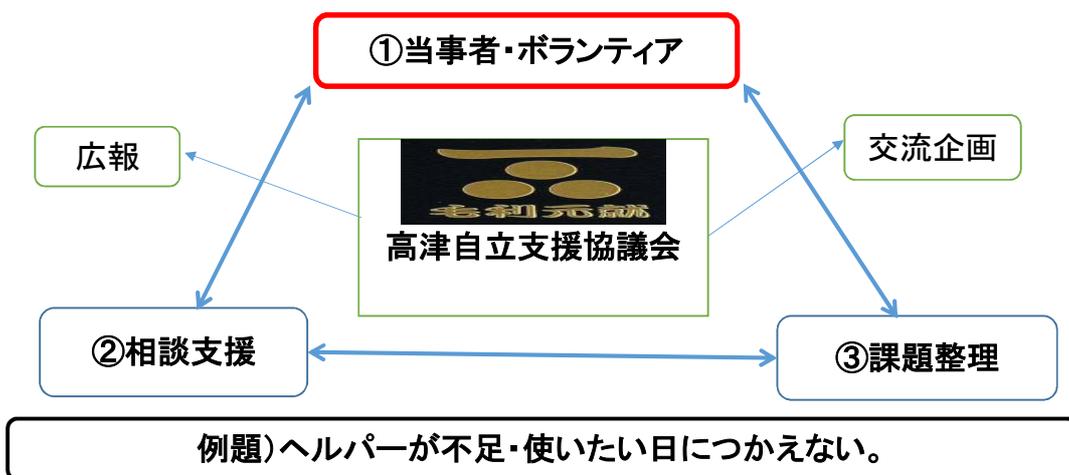
高津区3本の矢作戦Ⅳ

～5年でこんなまちにしたい 今年は夢から実行へ～



平成26年10月29日
高津区地域自立支援協議会

3つの委員会の繋がり、5年後のイメージ



【こんな感じになるといいなあ】
②で出てきた課題を⇒③へ
③では施策や仕組みの課題は市協議会、制度で届かない「ちょっとこまった時だけお助け隊」が地域の中でできないか？⇒①
①で地域の中で同じ問題意識、何かやりたい人と課題を繋げないか？

ボランティア育成委員会は5年後に

「地域に住む誰もが、自由に集える場」

作りを目指しています！



障害があっても無くても、

「高津区で暮らす人々が、自分の経験を

地域で 『ちょっとしたお手伝い』として 活かせるところ」

その活動の中で、誰もが暮らしやすい地域とは？を同じ
テーブルで議論できるような場所にしたい。

「制度に無いけど、ちょっとした手助けがあったら、もっと暮らしやすくなるのに～」という
声にお応えできるように・・・

これまでの経過

目標

- * ボランティア育成を打ち出し、ボランティア育成専門グループを置く。
「ボランティアセンター(仮称)」を目指す。

1・2
年目



⇒ 「当事者やその家族などが自由に集える場」

- * ボランティア講座(社協と共催)を開催。ボランティア団体への訪問。
- * 「制度にない、ちょっとした助けがあったら」の声あり。聞き取り等始める。

3
年目

障害の有無に関わらず「自分の経験を活かせる場」の具体的な策定

- * 具体的な仕組みの設定 → 『ちょっとしたお手伝い』を無理なく、できる時に。
- * 「エンゼルランプ」に参画を依頼し共に検討
- * 仕組み、予算等の検討。それらの文書(案)を作成。

検討事項の試行へ向けた取り組みの開始

ボランティア交流会(地活を利用)を開催、関係づくり
先駆的事業所(陽だまり)への見学
牧岡英夫氏との意見交換
ボランティア団体への聞き取り・声かけ

場所が先か機能が先か？の議論となり

まずは、動きを作るため、無理の少ないイベントなどの参加から始める準備をしている。



課題整理委員会

5年後の目標

【地域の課題1つを解消し、解決へのルートを1本つくる】

過去3年間の経過

<1年目>

- ・「区で出た課題整理票」の整理・検討・優先順位を決める作業
* ヘルパーの課題の多さから、次年度の重点項目に挙げる

<2年目>

- ・ヘルパー事業所聞き取り訪問実施と課題の整理(KJ法)
課題の中で 区で取り組める事として、ヘルパー事業所へ「出前出張講座」の検討

<3年目>

- ◆ 出前講座講義内容の精査とチラシ作成など、実行への諸調整
- ◆ 課題表提出以外にも地域課題を拾う範囲の拡大(協議会・サー調会議、調整会議)
- ◆ 課題の区でのフィードバックへの試行錯誤(項目ごとにまとめ、問題点を整理)

4年目(今年度)

○出前講座実行

- ・ヘルパー事業所ではないが、「相談支援事業について」の講義依頼があり実行。
※出前講座で使用予定の教材を利用
- ・実際講義を行ったフィードバックから新たな講義演目を追加、修正中。
- ・チラシを作成し、ケアマネ連絡会等で配布。
- ・訪問調査を実施したヘルパー事業所へ調査のフィードバックと出前講座情報提供

○区内でのフィードバックの強化・実行

- ◆ 課題を全体で共有化するために、区協議会でグループワーク実施(定期的開催予定)
※昨年は課題整理委員会から、課題まとめと論点をまとめた表を作成したが、今年度は対話を行い、課題を区の現場レベルで練り上げる段階への進めていく。

5年目の向けての取り組み

<5年目への二つの柱>

①区で練り上げた課題を市へのボトムアップするための取り組み。

②区で取り組める事の継続実行と強化、拡大。

①・②を行いながら、
【地域課題をとにかく一つ解決する形を作る】



相談支援委員会

3年目の報告(H25)

- ・ライフステージに焦点を当てた困りがちな課題を整理し、支援ブックを作成していった。
- ・次年度上半期までに素案を作成し、実用性をチェックしていく。
- ・課題整理委員会との連動を意識した、**出前講座における相談支援体制について、レクチャーを担当。**



4年目(今年度)の現状

- ・6月に支援ブックの素案が完成。
全体会メンバーへ配布し、1か月の期間を設けて実用性のチェックを行った。
 - ・上記チェックにより頂いた意見を反映し、9月全体会にて高津区支援ブックの完成版を配布した。
- 今後は、適時現状に見合うブックに修正をしていく。



交流企画 係

【4年の協議会活動の中で様々な所と“繋がる”ニーズが見えてきたために発足】

交流企画係

目的・・福祉、教育、地域の連携を図り、当事者の方たちの思いを地域に発信する。

内容・・他機関と交流しながら行う企画の立案、準備

- ★ケアマネ連絡会との交流会（9月12日）
- ★地域づくりについての講演会
（講師 牧岡英夫先生 9月30日）
- ★まちづくり協議会に参加。防災対策や災害弱者について考える企画を計画中（12月、1月に実施予定）
- ★防災について、当事者に話を聞く会を実施（9月、10月）

広報 係

【4年の協議会活動の中で地域の中で相談支援の周知がなされていない課題を解決するためのグループ】

- ☆市の自立支援協議会ホームページの高津区の作成
- ☆今後の相談支援の周知についての方法を検討

高津区協議会が考える「当事者参加」とは

地域の生活者として、「自分のできることで参加する」

26年度は



(イベント参加・手伝い): ボランティア育成委員会を中心に

(防災意見交流会など): 交流企画係を中心に

呼びかけして 繰り返し 参加の「場」づくり

常連さんも含めて新たな参加者も加わりやすい自由な雰囲気

高津区3本の矢作戦Ⅳ



生活のしづらさを抱えている人の経験や体験が、高津区に住む人に還元され、少しでも暮らしやすい街になり、当事者・支援者の垣根を越え、地域づくりをしたい人が集い、その声がかされる街にしたい

そのための1つのルートを来年(5年目)までに実現する。

平成26年10月29日（水）

宮前区地域自立支援協議会

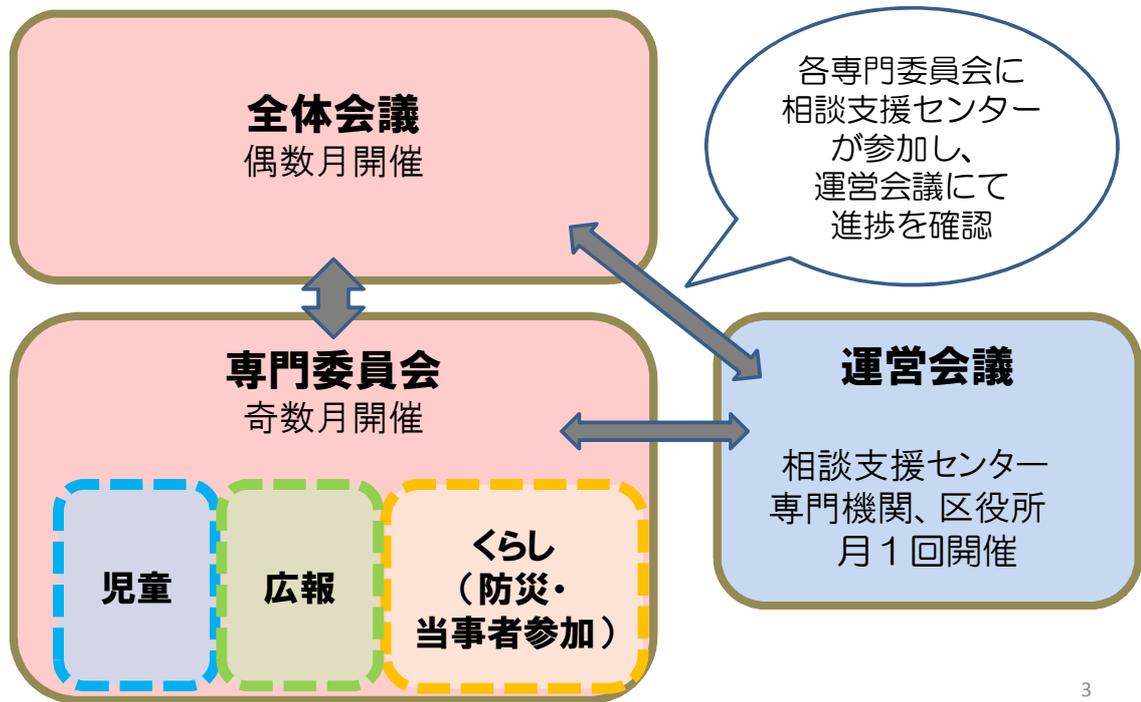
地域でつながる ～安心なくらしてってなんだろう～

報告者 地域相談支援センターポプラス 船井幸子
みやまえ基幹相談支援センター 山本 望

宮前区地域自立支援協議会 構成員（総員37名）

- 当事者（2名） 家族（1名）
- 市民（2名）
- 障害者福祉施設・事業所（10ヶ所）
- 特別支援学校（2ヶ所）
- 地域包括支援センター（1ヶ所）
- 専門機関（地域療育センター、障害者更生相談所
精神保健福祉センター、れいんぼう川崎）
- 保健福祉センター
- 相談支援センター（基幹1ヶ所、地域3ヶ所）

宮前区地域自立支援協議会 組織図



3

今年度の取り組み

- 全体会議
 - 6月 自主防災組織との勉強会
 - 8月 地域包括支援センターとの意見交換会
 - 10月 当事者との意見交換会

- 専門委員会
 - 児童専門委員会
 - 広報委員会
 - くらし委員会（防災、当事者参加）

今回のメイン
報告です

児童専門委員会

教育・家庭・福祉の連携を目指し、保護者や教職員向けの情報提供を目的とした研修会への協力や企画・開催、また情報誌の発行をしていきます。

5/14 川崎市立小学校・特別支援
教育研究会総会

8/ 1 教職員向け夏季公開研修会

10/23 保護者・支援者・市民対象
研修会「地域で生きる力をつけるために」

対象年齢別の情報誌「ふれあいJr」
の発行（今年度は幼児期対象）



広報専門委員会

広報を行うことにより、
宮前区地域自立支援協議会の
活動を地域に広く知って
もらえるようにしていきます。

- ・ 広報誌
「ほっととらいあんぐる」発行
- ・ ホームページの立ち上げ・運用

ほっととらいあんぐる
宮前区地域自立支援協議会第6号

発行年月日：平成 24 年 11 月 1 日
発行元：宮前区地域自立支援協議会
連絡先：宮前区保健福祉センター
〒218-8578 宮前区宮前平 2-18-5
TEL 044-856-3304
FAX 044-856-3163

子どもの相談窓口 宮前区の相談窓口をいくつか紹介します

～子どもの相談は～
★宮前区保健福祉センター（宮前区役所）
TEL 856-3308
対象は0歳～18歳
育児・発達や不登校など、子どもに関する

～子どもの相談は～
★西部地域産育センター
〒216-0022 宮前区平2-6-1
TEL 865-2905
対象は0歳～18歳
対象は・・・0歳～18歳

親子の相談窓口 お子さんの発達について心配な事がある時はご相談下さい。
相談：医師が診断を行います。
専門スタッフがお子さんの状態に合わせてご説明します。

宮前区地域自立支援協議会は宮前区の地域でくらす方、障害のある方が、一市民として、あたり前のくらしが送れるように、皆様（当事者参加）と一緒に作り上げていく事を念頭に活動しております。

障害のある方の相談窓口

- 1 福祉サービス利用援助サービス
- 2 自立的金融管理サービス
- 3 養育等福祉サービス
- 4 成年後見制度に関する相談

～地域活動の拠点として～
★福祉センターみやまえ（宮前区社会福祉協議会）
〒218-8333 宮前区宮崎2-6-10
宮崎台ボウリングフォックス4階 福祉/みやまえ内
TEL 856-5500

★他にもあります 【地域相談窓口】

みやまえ基幹相談支援センター TEL 750-0581
地域相談支援センターボボラス TEL 870-5236
地域相談支援センターれもん TEL 740-9043
地域相談支援センターシロウス TEL 920-9105

※紙面の都合上 FAX 番号は省略させていただきます。ご了承ください。

くらし専門委員会（当事者参加）

今年度

より幅広く当事者の方に参加していただく方法？

⇒まずは

「意見を聞く、話し合う」ことが大事！

「会議」という形にこだわらずやってみよう！

そこで・・・

当事者との意見交換会を開催！

『日々の想いを発信してみませんか？』

10月21日（火）

「地震！その時あなたは」

12月16日（火）

「聞かせて！

あなたの日々のくらし」

ひびおち
はっしん
**日々の想いを
発信してみませんか？**
くらしを 家族と一緒に考える宮前区地域自立支援協議会に～

★
地域でより生活しやすくなるように当事者（家族）の参加が必要です。ぜひ、皆様の声を反映できるようにご協力ください。

※宮前区地域自立支援協議会とは
宮前区に住んでいる、障害のある人もない人も、みんながくらしやすいまちづくりを目指し、区民、福祉サービス事業者、学校など、地域のさまざまな人たちが月1回あつまって話しているところです。

↓まずは、以下の意見交換会への参加をお待ちしています。↓

第1回意見交換会 日 時：10月21日（火） 13：30～15：00 場 所：区役所4階大会議室 テーマ：地震！その時あなたは…	第2回意見交換会 日 時：12月16日（火） 13：30～15：00 場 所：区役所4階第4会議室 テーマ：聞かせて！あなたの日々のくらし
---	--

参加希望の方は裏面の申し込み書をご覧ください。

くらし専門委員会（防災）

昨年度、防災についての2回のグループワーク。
気づいたことは、

「地域の取り組みを知らなすぎる」
そして・・・

6月に自主防災組織の方との勉強会を開催。

⇒大事なことは、

地域との日頃からのつながり！

障害のある方や支援者からの「発信」！！

障害のある人の安全なくらしを
身近な地域の方たちと一緒に考えたい

「防災について学ぶこと」

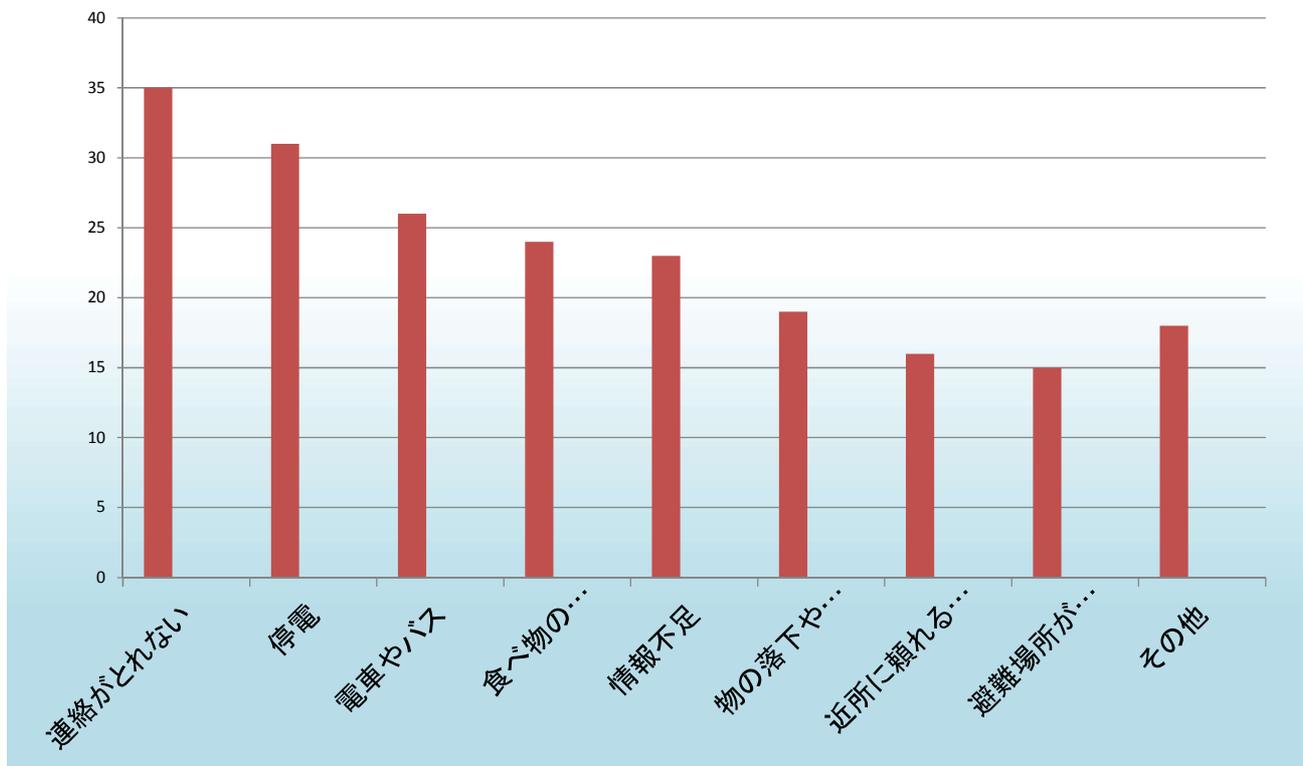
「当事者からの発信」

をテーマにして企画検討

東日本大震災のときに困ったこと

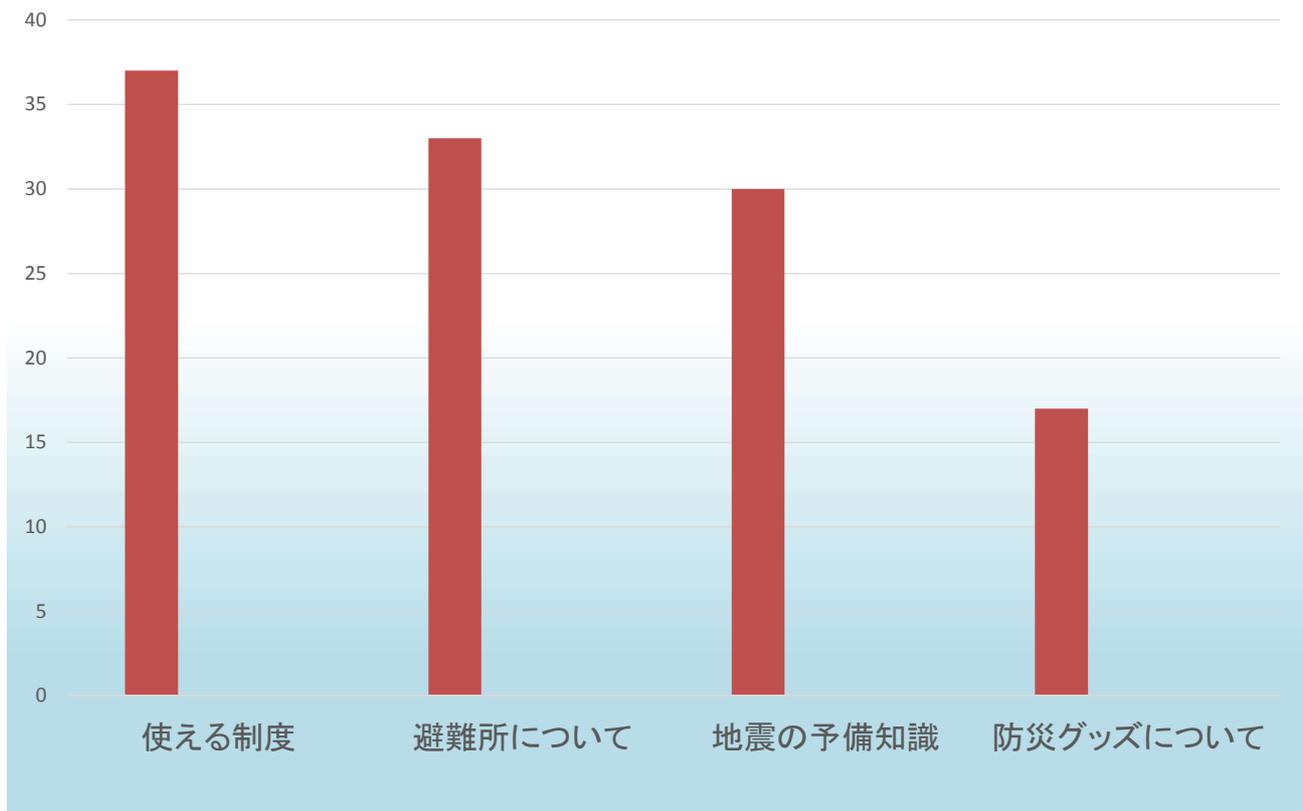
～アンケート結果から～

n=88



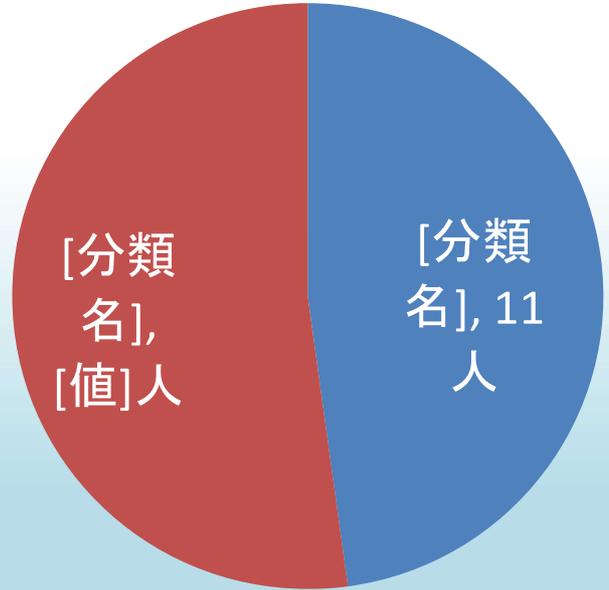
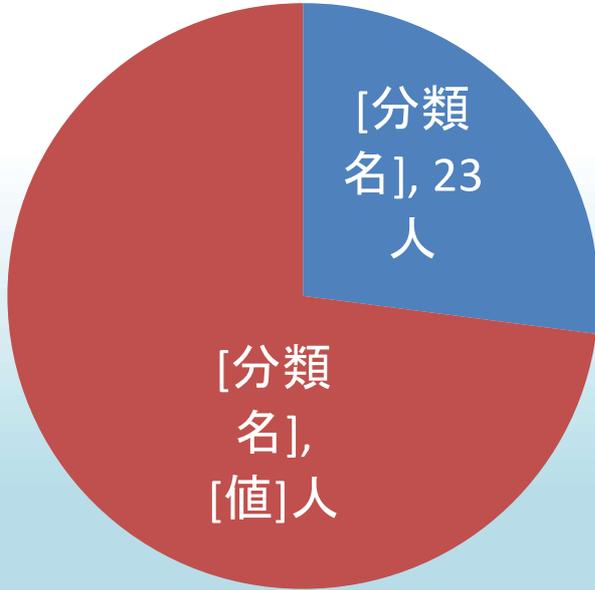
防災について、これから知りたいと思うこと

n=88



災害時要援護者支援制度を
知っていますか？

災害時要援護者支援制度を
知っている人へ質問。
申請していますか？



11月21日（金）
10：30～12：30

『地域でくらす
～防災の備えについて～』

平成26年度 防災・防災教育推進委員会 地域交流会

「地域でくらす ～地震の備え～」

宮城県東部河川防災協議会では、毎「年」の主題が「関係なく、だけれどが安心して暮ら
せる地域づくりを目指してさまざまな取り組みを行っています。
「地域における防災教育」という観点から、いつ起こるか分からない「地震」に備える
ため、今回は「地震への備え」をテーマにイベントを開催し、いざ知らずの備えや
避難所は何かについて、おなみんり「一歩」を「考える機会にしたい」と思っています。
おなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

日 時：平成26年11月21日（金） 10：30～12：30
場 所：官前市民館 大ホール
定 員：先着100名
参加費：無料
必須：無料

【プログラム】

- 10：30 開会あいさつ
- 10：35 【体験し役】-東日本大震災が起きた瞬間10分体験-
- 10：55 東日本大震災の体験者
(約 30分)
- 11：40 防災に関する地域の取り組みについて
- 12：10 災害時要援護者支援制度について説明
- 12：25 閉会あいさつ

【申し込み・問い合わせ先】
東部河川防災協議会 事務局 防災推進課
〒982-0844 (宮城県) 石巻市 0114-263631

防災は、障害のあるなしに関わらず、
多くの人に関心を持つことが大切！

みなさんが安心できるくらしを
一緒に考えていきましょう。



障害者も共に楽しく生きる街づくり ～地域とのつながりを深める～

多摩区地域自立支援協議会での取り組み

平成26年10月29日(水)
川崎市役所第4庁舎 2階ホール



多 摩 区

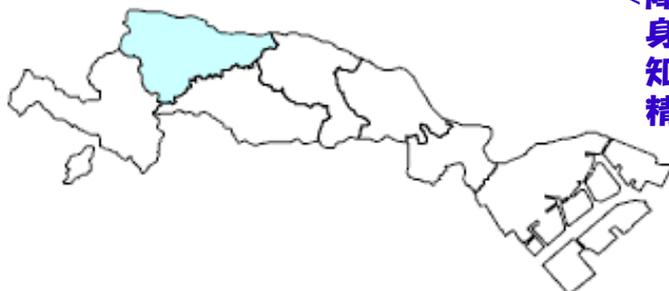


区の概要

面積 20.39 km²
人口 214,220人
世帯数 104,354 世帯
(2014年6月1日現在)

<障害者手帳所持者>

身体障害者 4747 人
知的障害者 1189 人
精神障害者 1402 人
(2014年6月末現在)

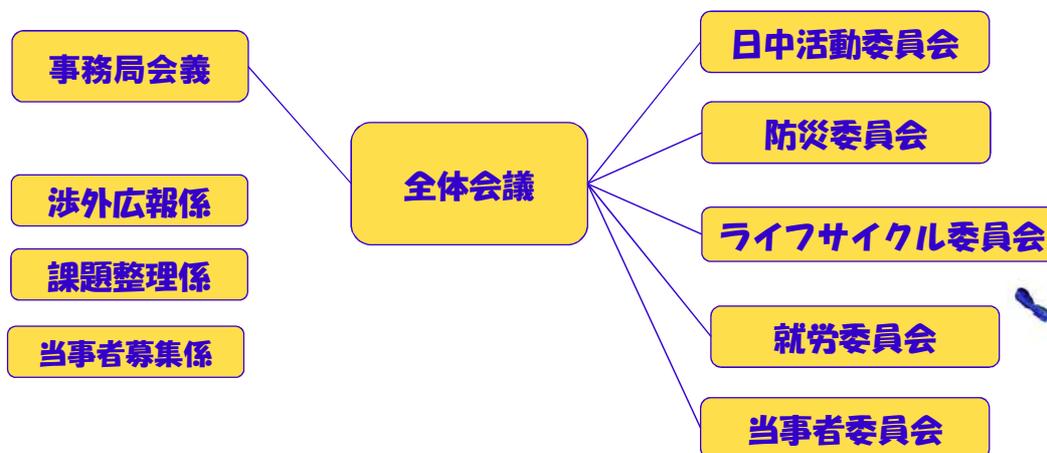


地域とのつながりを
深める



平成26年度の活動体制

月1回事務局会議、各委員会の開催。全体会、当事者委員会は隔月開催。



< 26年度の構成メンバー（総員数 38名） >

- ・多摩保健福祉センター
- ・区内の基幹・地域相談支援センター 4カ所
- ・専門機関
(百合丘障害者センター、北部療育センター、
北部リハビリテーションセンター、
就労援助センター、など)
- ・養護学校、児童関係機関、日中活動施設
社会福祉協議会、居宅支援事業所、地域活動支援
センター
- ・当事者（7名） 家族（3名）

【日中活動委員会】

障がいをお持ちの方が、日中の時間帯に
過ごせる場、通える場、休日を過ごせる場
について考えていくことを中心に活動して
います。

- ・交流会の開催
- ・日中活動先の情報提供





【防災委員会】

東日本大震災をきっかけに災害時における自助、共助、公助について考える活動を行っています。

・緊急時おたすけカードの作成

多摩区自立支援協議会のホームページから、ダウンロードできます。ご活用ください。

・災害時の地域とのつながり作り

昨年引き続き、多摩区防災フェアに参加いたします
防災関係者と災害時要援護者避難支援制度について
お話をする機会を持ちました。



災害時にこのカードに記載する情報を他の人に提供することに同意します。

署名 _____

多摩区自立支援協議会 災害対策部

協力者 連絡先	氏名	
	住所	
	関係	
	① 電話番号	
協力者 連絡先	氏名	
	住所	
	関係	
	② 電話番号	
要保護者登録	している・していない	

協力者 連絡先	氏名	
	住所	
	関係	
	③ 電話番号	
民生委員		
町内会 自治会		
避難場所①		
避難場所②		

**災害時
おたすけカード**

あなたのおてつだいが
必要です

- 身体障害のある方**
- 安定感のあるコップ
 - 曲がるストロー
 - メモ・筆記具
 - スプーン
 - <視覚障害のある方>
 - 白杖
 - メガネ
 - 点字器と点字用紙
 - 筆記用具
 - 防災地図(点字用)
 - 録音再生機器
 - <聴覚・言語機能障害のある方>
 - 懐中電灯(大2本) (夜間における人との会話の時、自分と相手の顔を照らし口形や表情をみるため)
 - 補聴器スベア 予備電池
 - 紙(たくさん)と筆記用具
 - 文字放送付携帯用テレビ

- 知的障害のある方**
- 本人との関わり方のメモ
 - 本人が落ち着くことのできるもの、空き時間を過ごす事ができるもの
 - 色鉛筆、クレヨン、ノート、筆記具など
 - 名札(必要な方のみ)
 - 本人の状態に応じた、有効なコミュニケーションとして使えるもの
 - 精神障害のある方**
 - 安心できる日用品
 - 日ごろから服用している薬
 - メモ・筆記具
 - 薬をのまれている方**
 - 日ごろから、「おくすり手帳」をもつようにしましょう。
 - 処方内容のわかるものも用意しておきましょう。
 - 最低3日分は薬を用意しておきましょう。

- 非常持ち出し品チェック**
- 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - ビニール袋、雨具
 - 防寒着
 - 生理用品 紙オムツ
 - 笛、ブザー
 - カイロ(使い捨て)
 - 下着類、靴下、手袋
 - 障害者手帳
 - おたすけカード
 - 要保護者用の目印(黄色いバンダナなど)
 - 貴重品(現金など)
 - 保存食品(水・チョコレートなど)
 - 補装具・医療器具など(災害時の対応方法について、主治医や機器取扱店と確認しておきましょう。)

- 災害時に正しい情報を得るために
- 災害用伝言ダイヤル 171
 - 川崎市ホームページ
 - かわさきFM 79.1
 - 防災テレホンサービス
0120-910-174(一般電話)
044-245-8870(携帯・PHS)
 - その他**
 - 災害時、症状が悪化し「避難所」での生活が困難になる人は、悪化時の対応も含めて、あらかじめ主治医に相談しておきましょう。
 - 「避難所」では、ルールを守り、自分にできる範囲の役割分担をして助け合いましょう。



【ライフサイクル委員会】

「人の人生を通して必要時に必要な支援について考える」という目的で活動をすすめてきました。

- ・福祉サービスの情報の啓発と交換
- ・ニーズの現状把握
- ・地域の関係者との意見交流



多摩区 ヘルパー事業所のつどい

- ・地域の関係者との意見交流

平成25年度～3回 多摩市民館にて開催

- ・多摩区内のヘルパー事業所同士の意見交換
- ・19社の中、11社の事業所が参加、意見交流を図る
- ・相談支援センターやヘルパー事業所で日々の業務で困っていることの共有が出来た。



【就労委員会】

- ・障害のある人が一般の人たちと一緒に働くために、またすでに働いている人が働き続けるために、多摩区の障害福祉に携わる機関に何かができるか、どのように地域の人たちに協力をお願いできるか、協議しています。

まだ福祉関係者中心（障害当事者を含む）ですが、企業関係者や地域の方達にも今後参加していただけたらと願っています。



【当事者委員会】

- ・当事者が集まって話合うことで、解決できそうなことはないか、何かできることはないか模索中。

- ・登戸駅から区役所までのバリアフリー状況等、街中調査をしています。





多摩ふれあいまつり

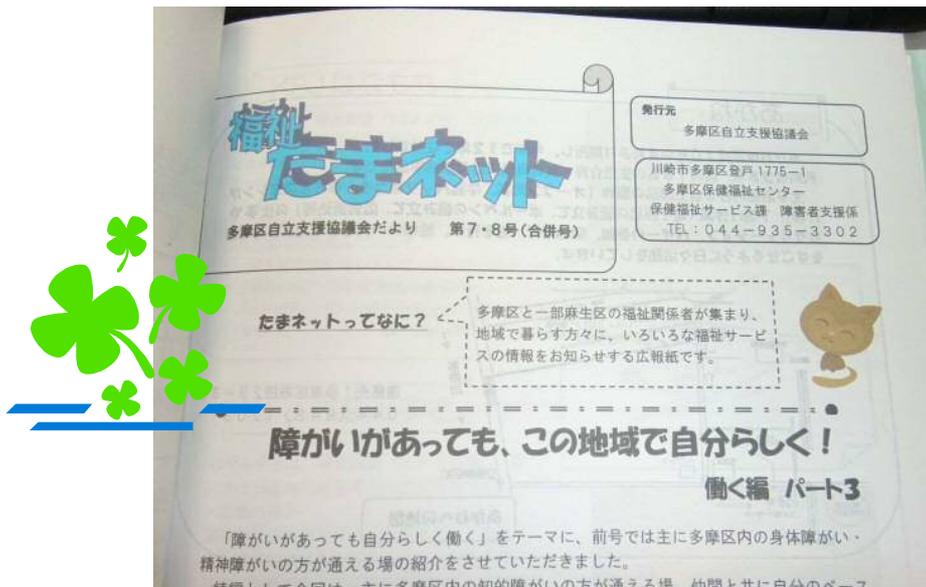
・年に1回、多摩区役所内市民館を利用して行っている福祉祭り。パネル展示を行い相談員を配置。



「パッセージ・たま」への協力

月に1回、多摩区内の障害者施設等の活動紹介や製品販売を通し区民への理解を求める活動。





たまネットの発行（年1回）

多摩区地域自立支援協議会の広報紙

全戸に情報が伝わるよう町内会を通じ回覧板を利用し啓発に努めています。



ご静聴ありがとうございました。



当事者委員会で実現したい事案

14年10月

当事者委員古谷学

車椅子における、多摩区主要駅周辺（多数の人達が利用する、人気施設及びエリアまでのすぐ直前）施設の通行ルートで、確実に安心して車椅子で通れる「のりかえ」マップを来年度にかけて、作成したく提案申し上げます。車椅子使用者が外出時に、初めての場所・知らない場所には不安と危険が伴って外出できません。心情的にも、消極的になってしまう傾向が多いようです。（他にも、目の悪い方・耳の悪い方も同様にお困りの事と存じますが）

手始めとして手のつけやすい車椅子用のりかえマップを作成したいと思います。車椅子利用の方が、安心して利用してもらえる地図、“車イスお出かけマップ”の作成および、利用コースの検証を、当事者委員が実際に車椅子利用者と一緒に、利用者の気持ちになり、危険そうな箇所があればチェックし、せつかくの外出時なので、コース上でも神社仏閣や商店街でのお買い物が楽しめる。障害者にも優しく利用しやすいお店が増えてくれると、いいなと心より思い検証いたします。

車椅子での外出時、よく利用している道でも駅周辺利用設備・エレベータの点検などでの臨時的に利用できないケースも多々有ります。ましてや行った事のない駅施設の利用に関して、駅構内においては駅職員のサポートが有る部分まではよいが目的地までの通路の幅や段差・斜けいなどは、実際通ってみないと解らないものです。

作成にあたって、ベースとなる既存の地図を活用しお金をかけずに利用して実際に車椅子を使用してポイントをチェック作成にあたりたいとおもいます。実際には、区画整理やマンションによる道路の変化や信号の有無など、車椅子利用者の方に解りやすく定期的に改定が今後必要になると予想できます。尚、出かける前に通行ルート中の利用設備（エレベータ等）稼働状況の確認のための連絡先の明記が大事だと思います。

今回、各当事者委員のご協力をへて数ある地図の中から本年14年2月発行の多摩区観光推進協議会／多摩区ガイドマップを使用させて頂きました。配布元は多摩区役所地域振興課になります。

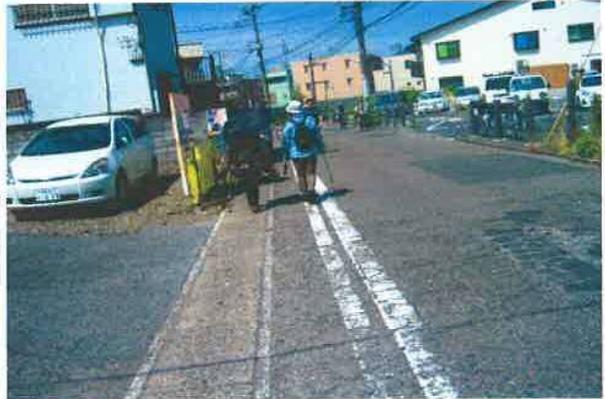
検証当日は、せつかくの人数で歩くのだからゴミ拾いもついでに行い、ご近所さんに大変喜ばれました。

- ルート作成候補：
- ①向ヶ丘遊園駅～多摩区役所
 - ②登戸駅～藤子・F・不二雄ミュージアム
 - ③よみうりランド駅～
 - ④新百合ヶ丘駅～周辺大学・コンサートホール
 - ⑤向ヶ丘遊園駅～生田緑地
 - プラネタリウム
 - 美術館
 - 映画館

基本コンセプト：土地勘のない車椅子利用者が、始めてその目的地に一人で地図を見ながら安全にたどり着ける地図。「車いすお出かけマップ」 予算はかけず手作り感イッパイの地図に仕上げたいと思います。できれば多目的トイレの利用場所など既存のトイレ地図からの情報も入れたいと思います。他にも車いすでも歓迎な飲食店や理美容室情報もまとめたいと思っています。

今後の予定と致しましては、小田急・京王各よみうりランド駅～よみうりランドへ行く3コース目の検証に10月中旬実施予定です。

以上



知ろう・探ろう・麻生の課題



麻生区地域自立支援協議会

1 テーマ

- ・テーマ: 知ろう、探ろう、麻生の課題
- ・内容: 麻生区の地域課題を改めて把握し、来年度には長期的(数年)展望で麻生区の地域づくりを目指していく。
今年度はそのような計画が立てられるよう、把握された地域課題をカテゴリー別に分け、それぞれにどのような方法、期間で取り組むのか検討し、来年度の具体的計画に反映させていく。いわば、「模索の年」である。

2 今年度の取り組み及び今年度の動き

(1)取り組み内容

4月:地域課題を出し合う(KJ法を活用した、小グループによる意見提出)。

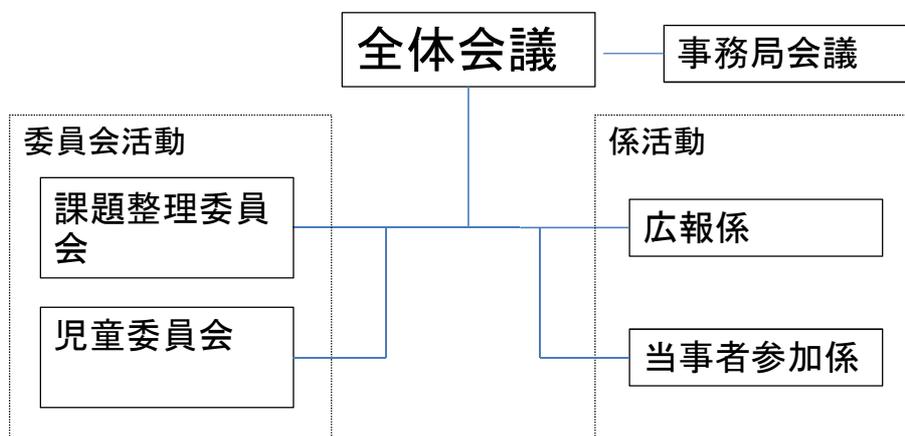
5月:地域課題を出し合う(提出された意見のグループ化、第4次かわさきノーマライゼーションプラン意見具申について)。

6月:4~5月を踏まえた、今後の方針の検討。

7月:年間テーマの決定、課題整理委員会設置の了承、今後の具体的取り組みの決定

8月~10月 テーマに沿ってグループ討議

(2)組織図



(3)麻生区課題整理委員会

～課題解決の長期計画の策定に向けて～

<昨年度までの課題>

- ①課題の抽出・整理ができていなかった。
- ②課題の検討が単年度限りになり、継続性が持てなかった。



麻生区の課題を洗い出し、課題解決に向けた長期的に取り組む必要がある。

<今年度の方向性>

- ・麻生区で取り組む課題の抽出
- ・課題の具体的解決策の道筋をつける
- ・構成メンバーが意見を出し合える場の工夫

<今年度の取り組みについて>

- KJ法を用いて27項目の課題を抽出



- 4項目:「日中活動」「街の悩み」「ネットワーク」「家族」について毎月1テーマずつグループ討議



- 地域課題の整理・把握



<グループ討議を行って…>

●「同じ土俵に立つ」

●少人数で話せたので、意見を出し合えた。

●メンバーの所属団体、事業所などへの理解が深まった。

目指すは…

～知ろう、探ろう、麻生の課題。～



(4)平成25年度児童委員会における活動内容

①リーフレット作成

北部地域における、児童支援向けの使いやすい支援サービスリーフレットを作る事を目的に開始。

(内容)

各ライフステージに合わせた支援の流れ

各種サービスの説明

実施事業所一覧

②ピアサポーター活動支援

A ピアサポーター活動紹介及び意見交換会

9月17日(火)10:00～

ピアサポーター7名とグループディスカッション

今後の活動を検討

B ピアサポーター出張相談会

北部地域にある小学校特別支援級の父母向けに出張相談

2月27日(木)14:00 千代ヶ丘小学校

3月5日(水)15:30 長沢小学校

C ピアサポーター活動支援懇談会

3月4日(火)12:30

ピアサポーターと②に参加した父母を対象にランチ会開催

会

③児童委員会における活動予定

A リーフレット作成

昨年度に引き続き、リーフレット作製継続。

B ピアサポーター活動支援

ピアサポーターの集い開催

月1回 第4木曜日 午前

児童員会で支援しているピアサポーター活動を、発展、定着する事を目的に開催。

C 出張相談会開催

北部地域内小学校特別支援級に向けた、出張相談会開催。

④今後の課題

- ・自立支援協議会スタッフは年度単位で異動がある為、目的など浸透が困難。
- ・特別支援級に対する出張相談会では、スタッフの個人的な関係性で開催が可能となっている現状。今後は、教育機関と連携し定期的な開催に発展していきたい。
- ・ピアサポーター活動支援は地域の社会資源として確立しつつある。今後どのような機関が支援を継続していくか検討が必要である。

(5) 当事者係

①取り組みからみえてきたもの

6人の当事者・家族の参加が始まりました

【参加理由・協議会でやってみたいこと】

- ・障害をもって暮らす困り事をお互いに知りたい！
- ・普段の生活でどんな課題があるか一緒に考えたい。
- ・お互いにプラスになることが見つけられるかも。
- ・障害のある方の仕事の場や日中活動先について道を開きたい。
- ・障害を持つ仲間たちの理解を深めたい。
- ・自立支援協議会の取り組みをもっと知りたい。
- ・どのような立場の人でも、住み慣れた地域で一生涯安心して暮らせる街づくりを、一緒に考えたい。

②最近の参加者の声

- 協議会では自分たちはお客さんみたい。なんで自分たちが参加しているのかが見えてこない！
- お互いを感じる暮らしの不便さ。こんなに違いがあるなんて知らなかった。
- 社会資源て何？？ 福祉の言葉は、案外馴染みがない。
- 福祉の人たちは、福祉の人たちだけでつながっている。
- 障害のある人が暮らしやすい街をつくるためには、福祉の人以外とのつながりがもっと必要だ！
- 障害があっても、できることはある。
- 生きがいになるような活動をしたい！

取り組みから見えてきたもの

- **誰かの役に立ちたい！**
- **社会に参加したい！**



会議室にはない。現場(地域)にある！
協議会よ！外にでよう！！